

資料1

## 大阪湾再生行動計画の 実施状況について



平成18年3月30日 大阪湾再生推進会議

## 大阪湾再生行動計画

- 京阪神都市圏を含む広い範囲の集水域を抱え、その一方で閉鎖性海域であり、水環境改善に向けた課題が多く残されている大阪湾において、都市再生本部で決定された都市再生プロジェクトである「海の再生」を推進するため、大阪湾再生推進会議が平成16年3月26日に策定したもの

## 大阪湾再生に向けての目標

森・川・海のネットワークを通じて、  
美しく親しみやすい  
豊かな「魚庭(なにわ)の海」を回復し、  
京阪神都市圏として  
市民が誇りうる「大阪湾」を創出する

## 具体的な目標及び指標

| 具体的な目標                     | 指標   |
|----------------------------|--|
| 年間を通して底生生物が生息できる水質レベルを確保する | 底層DO(溶存酸素量)<br>・5mg/L以上(当面は3mg/L以上)                                    |
| 海域生物の生息に重要な場を再生する          | 干潟・藻場・浅場等の面積<br>砂浜・磯浜等の延長  |
| 人々の親水活動に適した水質レベルを確保する      | 表層COD・散策、展望:5mg/L以下<br>・潮干狩り:3mg/L以下<br>・海水浴:2mg/L以下<br>・ダイビング:1mg/L以下 |
| 人々が快適に海にふれ合える場を再生する        | 自然的な海岸線延長  |
| 臨海部での人々の憩いの場を確保する          | 臨海部における海に面した緑地の面積  |
| ごみのない美しい海岸線・海域を確保する        | 浮遊ごみ、漂着ごみ、海底ごみ   |

## 重点エリア

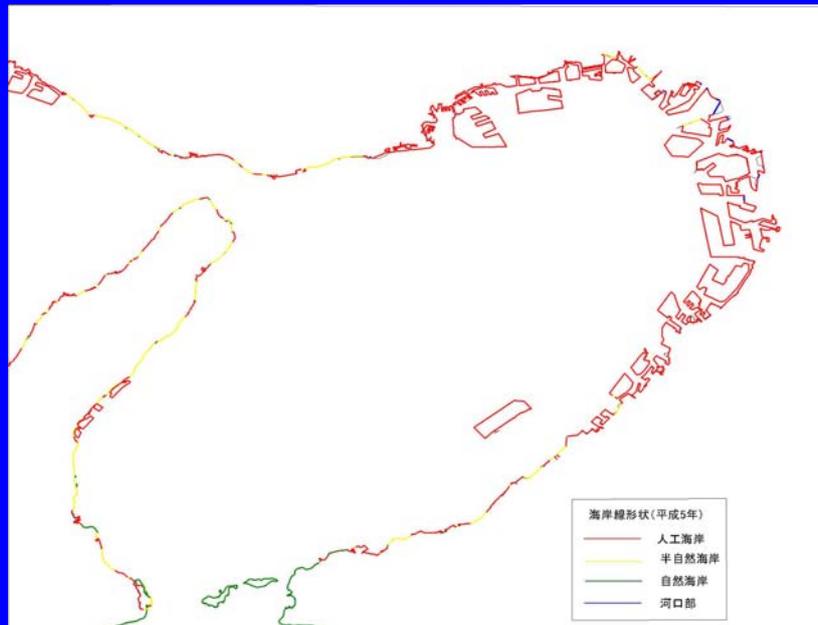
- ◆ 目標達成は大阪湾と集水域全体での取り組みが必要
- ◆ そのうち、再生への課題が多く、かつ改善する点が多い湾奥部「概ね神戸市須磨区～大阪府貝塚市」を「重点エリア」と設定



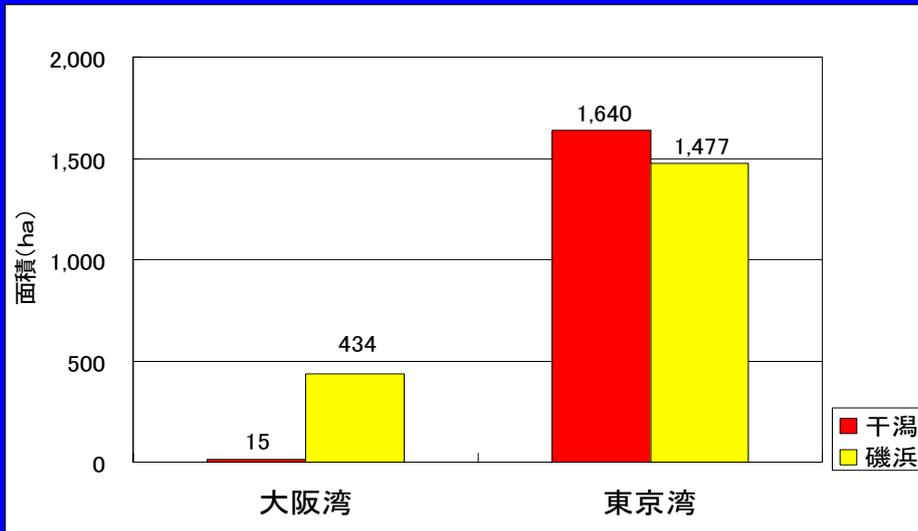
## 計画期間

- ◆ 平成16年度から10年間を計画期間とする

## 大阪湾の海岸線の状況

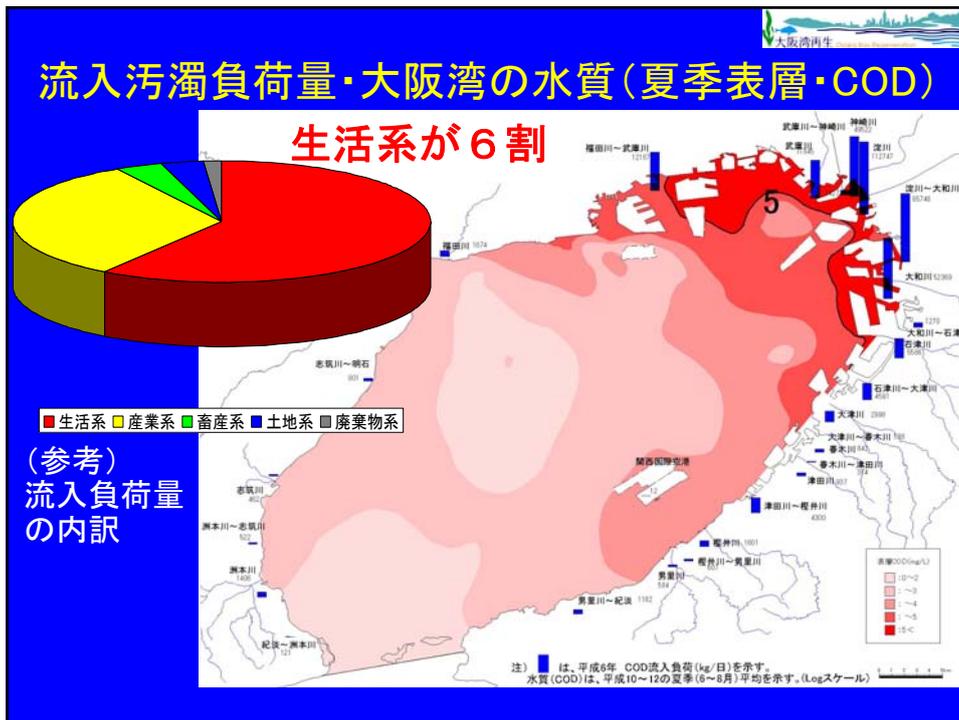


# 大阪湾は東京湾より干潟・磯浜が少ない



# 大阪湾の集水域







## 陸域負荷削減施策の推進

- ◆ 水質総量規制等
- ◆ 下水道事業など
  - ・高度処理化、合流改善など
- ◆ 河川浄化事業、森林整備事業など
  - ・河川浄化施設、浄化浚渫、河口干潟など
- ◆ 市民と連携で清掃活動



瀬と淵浄化施設(大和川下流部)



近木川河口干潟



武庫川下流浄化センター

## 海域での環境改善対策の推進

- ◆ 水質の改善
- ◆ 多様な生物の生息・生育
  - ・人工干潟の整備など
- ◆ 親水性の向上
  - ・海辺の緑地、砂浜や磯浜の整備
- ◆ 浮遊・漂着・海底ごみの削減

人工干潟(阪南2区)



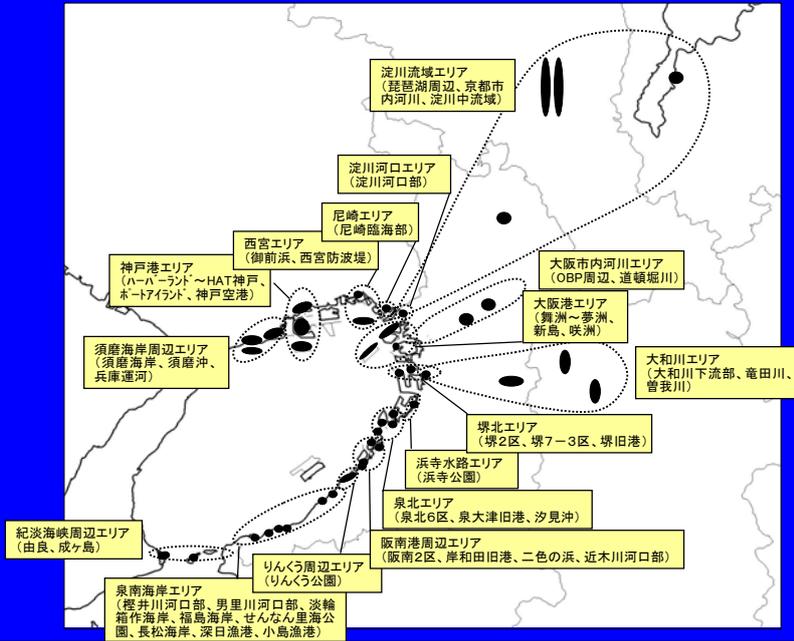
海洋環境整備船



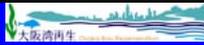
## 大阪湾再生のためのモニタリング

- ◆ 環境監視、環境改善効果把握
  - ・関係機関の連携、底生生物モニタリング、環境調査が実施できる海洋環境整備船の整備、わかりやすい指標など
- ◆ 市民参加のモニタリング
  - ・多様な主体の連携で環境改善施策効果をともに把握
- ◆ 汚濁機構の解明
  - ・貧酸素水塊調査の充実、水質シミュレーションモデルの開発など
- ◆ 情報の共有化及び発信
  - ・大阪湾環境データベース、市民にわかりやすい発信

# アピールポイント位置図



# アピールポイント施策例



## 【尼崎エリア】



尼崎21世紀の森のイメージ  
(尼崎の森中央緑地)

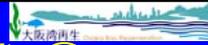


### [現況]

- 水質が悪く、工場跡地が低・未利用地化し、景観を阻害、人々が近づけない海辺

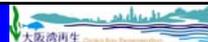
### [改善後のイメージ]

- 緑豊かで快適に散策のできる海辺



## 大阪湾再生推進会議の構成 ①

- ・内閣官房：都市再生本部事務局
- ・国土交通省：近畿地方整備局  
海上保安庁第五管区海上保安本部
- ・農林水産省：近畿農政局  
林野庁近畿中国森林管理局  
水産庁（漁港漁場整備部）
- ・経済産業省：近畿経済産業局
- ・環境省：水・大気環境局
- ・滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、  
和歌山県、京都市、大阪市、神戸市
- ・(財)大阪湾ベイエリア開発推進機構

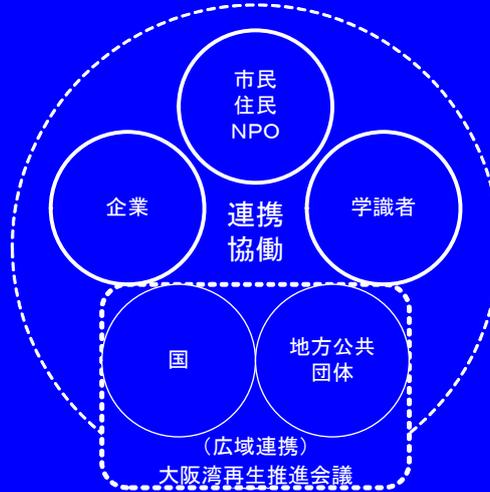


## 大阪湾再生推進会議の構成 ②

- ・大阪湾再生推進会議のもと、幹事会および  
ワーキンググループを設置。  
→ WG：全体グループ、陸域グループ、  
海域グループ、モニタリンググループ

※ 事務局は、近畿地方整備局。  
大阪府および(財)大阪湾ベイエリア開発推進機構が運営協力

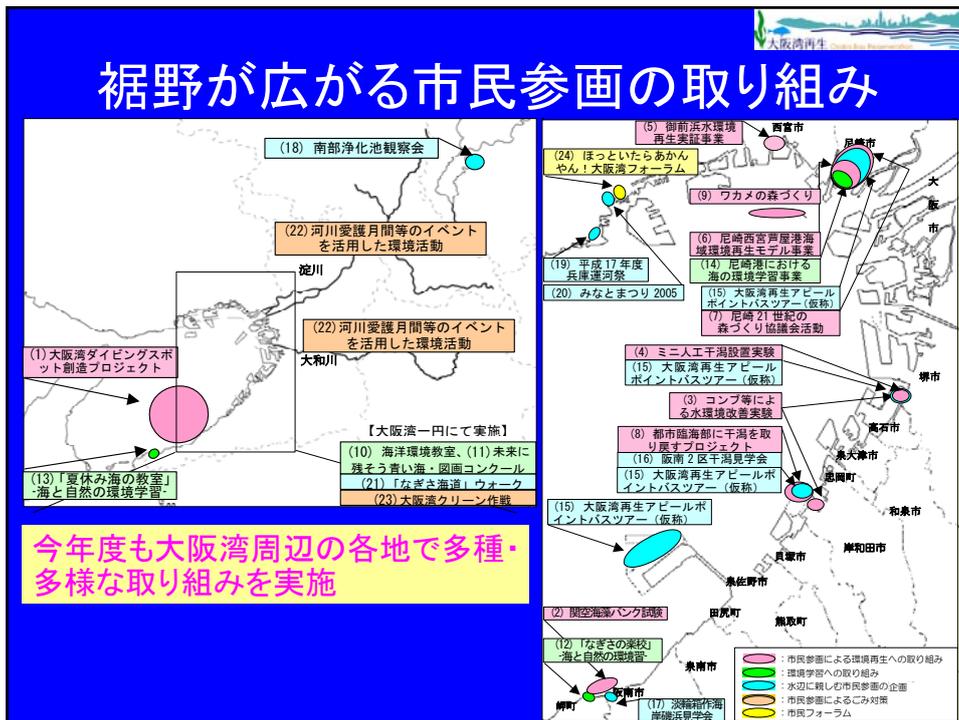
## 推進体制図(イメージ)



- 大阪湾再生推進会議とあわせて、市民・住民・学識者、企業との連携と協働による推進体制づくりを進めながら、大阪湾再生の着実な推進に努める。

## 平成17年度の取り組み事例

- ①市民参画による  
環境再生への取り組みについて



## ■大阪湾再生アピールポイントバスツアー

●大阪湾の集水域の住民を対象に、大阪湾再生行動計画で設定されたアピールポイントを見学し、各種の取り組みに接することにより、大阪湾に対する意識向上とライフスタイルの変革を図る



施設見学の状況



担当者による説明

大阪湾再生

## ■市民シンポジウムの開催

- 釣り人との環境モニタリングシステムの構築や、大阪湾再生のための連携に向けたネットワーク形成をめざした市民シンポジウムなどを開催



「みなとの環境づくりシンポジウム」

大阪湾再生に関する  
市民シンポジウム等  
→全22回開催



「ほっといらたあかんやん！大阪湾フォーラム」

## ■大阪湾ダイビングスポット創造プロジェクト (全国都市再生モデル調査)

- 大阪湾アマモ再生実験等からなるプロジェクトを立ち上げ、大阪湾の自然や環境に対する関心を高め、都市住民による自発的な環境保全活動を促進



アマモ場育成キットを用いた環境学習



アマモ場育成キット



## 市民参加の取り組みを中心とした マスコミ報道状況

- 行政と市民・NPOなどとの協働の取り組みが注目され、以下のとおり、テレビ・新聞とも継続的に取材を受けている。

### 【テレビ放映の状況】

- ・平成17年4月～平成18年3月までの約1年間の大阪湾再生関係のテレビ放映の本数は**15本**。

### 【新聞、雑誌等】

- ・新聞報道については、産経新聞2件、朝日新聞5件、毎日新聞2件、読売新聞3件、朝日小学生新聞3件、神戸新聞2件、大阪日日新聞12件、水産経済新聞2件、日刊建設工業新聞2件、日刊建設通信新聞1件、建設新聞1件、公明新聞1件の**計36件**と多数に亘る。

## 平成17年度の取り組み事例

### ②行政機関による積極的な取り組み

# 1. 水質の改善に向けて

## ■新たな下水処理場の整備

【平成17年度の主な取り組み】

- 新たな下水処理場として、南あわじ市(旧緑町)広田浄化センターの供用を開始<完了>
- 信楽町単独公共下水道、寝屋川北部流域下水道、寝屋川南部流域下水道の3処理場の事業を実施中<継続>

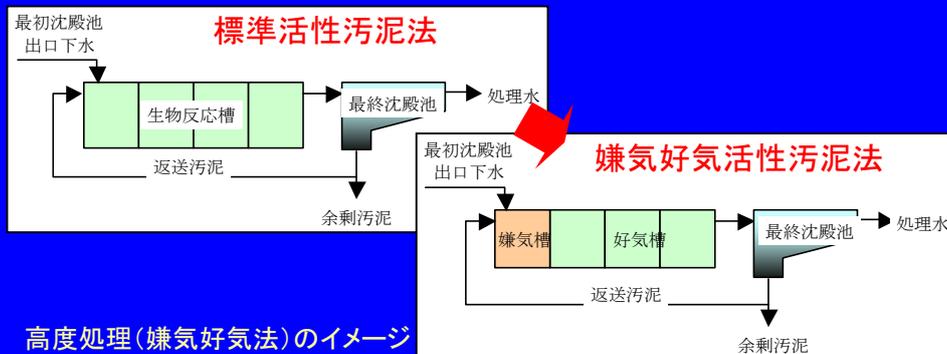


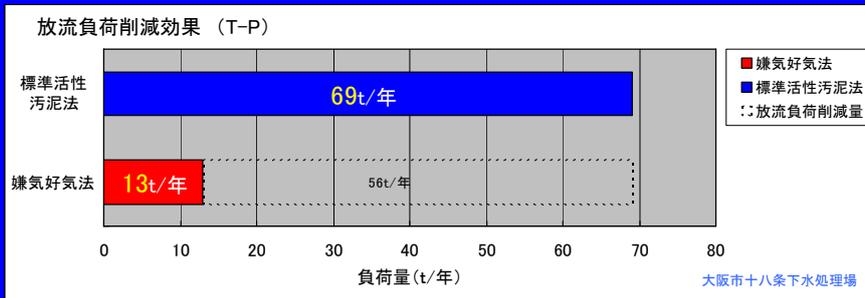
南あわじ市広田浄化センター

## ■下水処理場の高度化

【平成17年度の主な取り組み】

- 庄内下水処理場の高度処理施設の供用を開始
- 石田水環境保全センター、武庫川下流浄化センターの高度処理施設整備に着手
- 川俣処理場、垂水処理場の高度処理施設整備を実施中<継続>





### 【十八条下水処理場における放流負荷削減効果】

流入負荷を約8%削減

○高度処理(嫌気好気法)による放流負荷削減効果

(T-P) : 56t/年 = 153kg/日

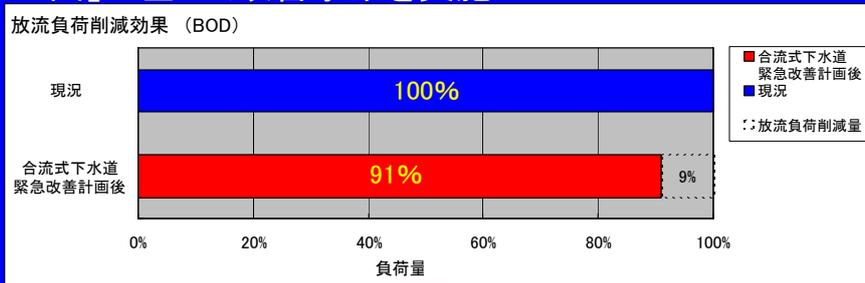
→神崎川流域から大阪湾に流入するT-P負荷量(平成11年度夏季: 1,867kg/日)の約8%に相当する大きな効果が得られている。

高度処理(嫌気好気法)による放流負荷削減効果(大阪市十八条下水処理場)

### ■合流式下水道の改善

【平成17年度の主な取り組み】

●流域の下水道管理者が「合流式下水道緊急改善計画」に基づく改善事業を実施



### 【合流式下水道の改善による効果(計画値)】

放流負荷を約9%削減

合流式下水道緊急改善計画に基づく放流負荷低減効果  
(大阪湾集水域における計画値の合計)

大阪湾再生

## 良好な水環境の創出：合流式下水道の改善例（大阪市）

| 現 状  | 対 策   |
|--|---|
| <p>大阪市では、汚水と雨水を同一の下水道で排除する合流式下水道を採用しています。</p> <p>雨天時には、処理しきれない汚水の一部が吐き口から未処理のまま河川等に放流されており、水質保全上問題となっています。</p> <p>（下水道整備区域の約97%が合流式下水道で整備されており、全市で114箇所の雨水吐き口があります。）</p> | <p>良好な水環境の創出をはかるために、道頓堀川をはじめとする市内河川や大阪湾において、下水道から公共用水域への汚濁負荷を削減するために、合流式下水道の改善を進めます。</p> <p>○合流式下水道の改善<br/>雨水貯水池（貯留管）の建設、雨天時下水処理量の増大等</p> |

**「平成の太閤下水」道頓堀川・東横堀川での合流式下水道の改善対策**

「平成の太閤下水」  
（北浜～逢阪貯留管）の建設  
延長：約4.8km、内径：約6m

大阪湾再生

## ■河川における浄化事業

【平成17年度の主な取り組み】

- 東除川、恩智川、樫井川、寝屋川、平野川及び琵琶湖などで浄化事業を実施＜継続＞
- 大和川において河川浄化施設の設置及び既存施設の機能向上を実施＜継続＞

東除川 薄層流浄化

樫井川 瀬と淵浄化

## ■流域の森林整備

### 【平成17年度の主な取り組み】

- 箕面市の箕面国有林において都市型の「里山整備モデル林」を設定し、森林整備のための植生調査を実施<継続>
- 森林ボランティア団体の支援、公共工事の木材利用の推進<継続>
- 森づくりへの企業参加を促すための「アドプトフォレスト制度」の導入



放置された森林



多様な樹種による環境林へ  
「アドプトフォレスト制度」のイメージ

## 2. 多様な生物の生息・生育場の再生

### ■藻場・干潟等の浅海域の創出

#### 【平成17年度の主な取り組み】

- 神戸空港における人工ラグーン(水面部)の整備<完了>
- 御前浜における実証実験施設としての浅場の整備



神戸空港(人工ラグーン)  
[H18.1.24撮影]

## ■ 関空海藻バンク試験

【平成17年度の主な取り組み】

- 豊かな生態系を持つ関西空港護岸の海藻の胞子や種を大阪湾岸に移植することにより、沿岸域に藻場を造成します。



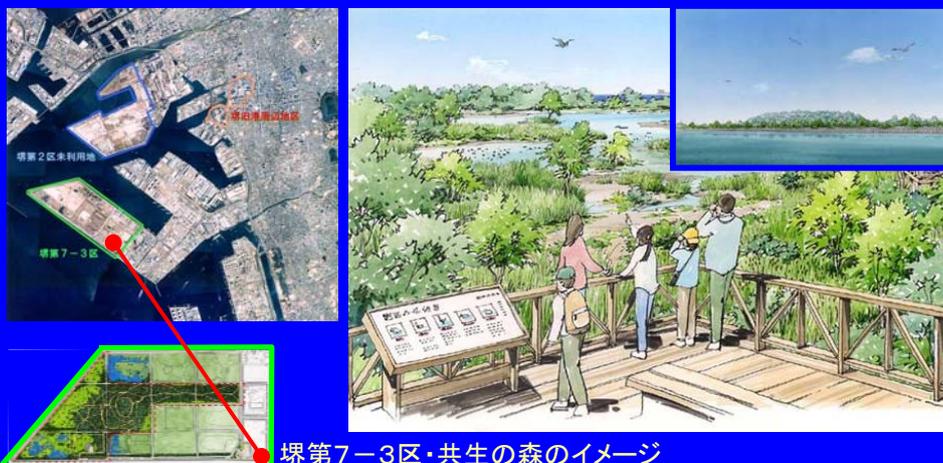
ボランティアダイバーによる海藻移植

## 3. 親水性の向上に向けて

### ■ 臨海部における親水性の高い公園緑地の整備

【平成17年度の主な取り組み】

- 堺第7-3区における共生の森の整備に着手



堺第7-3区・共生の森のイメージ

## ■人と海とが豊かに触れ合う機会の提供

【平成17年度の主な取り組み】

- 「なぎさ海道ウォーク」、「阪神なぎさ回廊ウォーク」の実施<継続>



なぎさ海道ウォーク  
(明石海峡大橋と潮騒のサンセットウォーキング)



阪神なぎさ回廊ウォーク  
(芦屋・西宮コース)

## 4. 浮遊・漂着・海底ごみの削減

### ■河川清掃活動の推進

【平成17年度の主な取り組み】

- 「瀬戸内海 川と海のクリーンアップ大作戦」「淀川わんどクリーン大作戦」「猪名川クリーン作戦」「大和川クリーンアップキャンペーン」等と連携した河川流域及び沿岸の美化に係る取り組みを実施<継続>



淀川わんどクリーン大作戦の  
活動状況

## ■ 海域におけるごみの発生防止と回収強化

【平成17年度の主な取り組み】

- 「大阪湾クリーン作戦」、「リフレッシュ瀬戸内」の実施、海洋環境整備船によるごみ等の回収、底びき漁船による海底ごみの除去<継続>
- 底びき漁船による海底ごみの除去<継続>



大阪湾クリーン作戦



海洋環境整備船による浮遊ごみの回収状況

## ■ 浮遊ごみの流出機構の把握

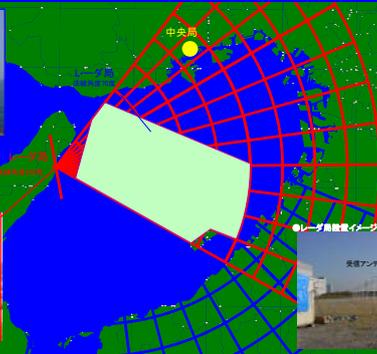
【平成17年度の主な取り組み】

- 浮遊ごみの流出機構の把握のため、海洋短波レーダ(DBFレーダ)を設置

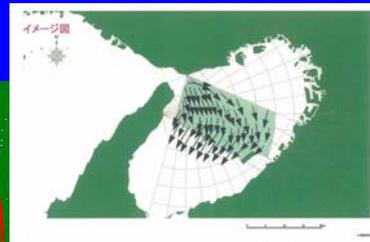
●レーダ観測範囲図(2島体制)



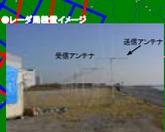
レーダ観測エリア



レーダ観測範囲

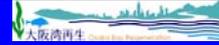


観測結果のイメージ



レーダ観測イメージ

## 5. 効果的・効率的なモニタリング



### ■大阪湾再生水質一斉調査

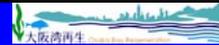
【平成17年度の主な取り組み】

- 8月に、国の関係機関や沿岸府縣市及び土木学会研究グループに加え、臨海部の事業者・企業等が連携した「大阪湾水質一斉調査」を実施<継続>



調査実施状況(近畿地方整備局 神戸港湾事務所「紀淡丸」)

### ■市民モニタリングへの試み



【平成17年度の主な取り組み】

- 今年度の水質一斉調査においては、「水質一斉調査市民参画マップ(WEB)」を活用し、NPO・市民団体との協働による情報の共有化についても試行

水質一斉調査市民参画マップ / 皆さまからの情報

磯浜

【調査日時】8月2日11時30分頃  
【調査場所】舞洲 北側磯浜  
【海の色】茶褐色、濁っている(波のせいもある)  
【海のおいしさ】あまり感じない  
【見つけた生き物】カニ、フナムシ、フジツボ  
たまに魚がはねる  
鳥く糞? >10羽程度  
【海辺で感じたこと】思ったより、濁っている。  
この様な岩場は生き物にとっては様みやすい、様みにくい?  
【年代】40~50歳  
【性別】男性

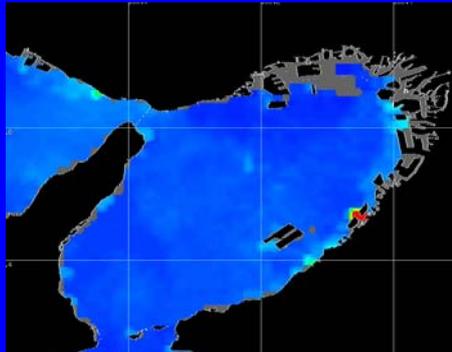


水質一斉調査市民参画マップ(WEB)

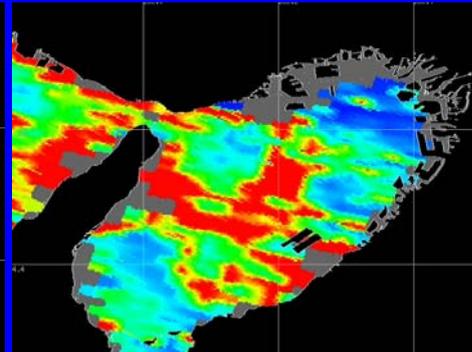
## ■ 継続的なモニタリング及びモニタリングの内容の充実

【平成17年度の主な取り組み】

- これまでのモニタリングの実施に加え、地球観測衛星画像による大阪湾海域のモニタリング結果をホームページで公開



クロロフィルa濃度



懸濁物質濃度

## ■ モニタリング・データの効果的な情報発信

【平成17年度の主な取り組み】

- 大阪湾内で実施されているモニタリング結果を集約した大阪湾環境データベースホームページについて、データ検索システム(クリアリングハウス)を充実



クリアリングハウスは大阪湾の環境情報をつなぐ絆  
大阪湾環境データベースのデータ検索システム(クリアリングハウス)の概要



大阪湾環境データベースのデータ検索システム(クリアリングハウス)の画面

## 新聞記事「大和川に天然アユ遡上」



**水質浄化、上々か**

# 大和川に天然アユ遡上

## 初確認、「耳石」で判別

「日本一汚い川」と言われた大和川（大阪、奈良）で、大阪湾から天然アユの遡上が確認された。理科専攻の大阪教育大生4人の卒業論文のための調査でわかった。指導した長田芳和教授（淡水魚研究）によると、大和川や支流で産卵産卵アユの放流が始まった60年代半ば以降、天然アユの遡上が正式に確認されたのは初めて。汚濁度の少ない川に生息する天然アユが見つかったことで、同川の水質浄化が進んでいることが裏付けられた。

（市原研吾）

大和川は、水の汚れを示す生物学的酸素要求量（BOD）が国の調査で、ランク公表を始めた73年以来、ワースト3位に定着。04年に国最悪になり、05年ワースト3だった。4年生の植野裕盛くん

朝日新聞 平成18年2月3日(金)

## 新聞記事「大阪湾に自生アマモ場を発見」

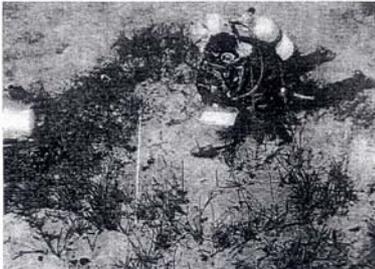


### 豊かさ、美しさの象徴

# アマモの大規模群生地確認

「豊かさ、美しさの象徴」と呼ばれるアマモの大規模群生地が大阪湾の人工海浜で確認された。大阪湾再生推進機構が調査したところ、大阪湾の人工海浜にアマモの大規模群生地が確認された。これは、大阪湾再生推進機構が調査したところ、大阪湾の人工海浜にアマモの大規模群生地が確認された。これは、大阪湾再生推進機構が調査したところ、大阪湾の人工海浜にアマモの大規模群生地が確認された。

### 大阪・貝塚の人工海浜



産経新聞 平成18年3月14日(火)